

令和5年度 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和5年12月18日（月） 午後2時45分から午後3時45分

場所：軽井沢西部小学校 会議室

出席者：会 長 細萱 昇

副会長 福原 未来

学校運営協議会委員 10名

軽井沢東部小学校校長 川崎 圭一

軽井沢中部小学校校長 阿部 純

軽井沢西部小学校校長 田野 公章

軽井沢中学校校長 山崎 伸一

行政関係 外川 善行（生涯学習課長補佐兼生涯学習係長）

事務局：金井 章宏（こども教育課長補佐兼学校教育係長）

佐藤 朋葉（こども教育課学校教育係）

【給食・給食指導・校内見学】 ～14：40

1. 開会

＜こども教育課長補佐兼学校教育係長＞

只今より、令和5年度第3回学校運営協議会を開催いたします。来校した際にお渡ししたアンケートはご記入いただき、用紙は最後机上に置いていただきますようお願いいたします。

では、次第に則り進めさせていただきます。「2. 会長あいさつ」細萱会長お願いします。

2. 会長あいさつ

＜細萱会長＞

皆さんこんにちは。急に寒くなり大変な中お集まりいただきありがとうございます。学校長に話を伺うと中学校は通信や私立の受験が始まっており、小学校も大変忙しい時期となっています。また、インフルエンザ等の流行も収まらず、それぞれ大変な中だとは思いますが、そのような中で1日1日過ごしており、今日お集り頂きました皆様に感謝申し上げます。皆さま体調は大丈夫ですか？これからいよいよ大変な時期となりますので、準備して頑張っていきたいと思っております。

本日は短い時間ですが忌憚ないご意見をいただき、軽井沢町の学校教育が少しでも良くなるようにできる会議としたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

＜こども教育課長補佐兼学校教育係長＞

ありがとうございます。それでは以降の進行は会長よりお願いいたします。

3. 議題

＜細萱会長＞

議題に移る前にせっかく西部小学校を見ていただいたので、質問や意見があるようでしたら校長先生もいることですので出していただければと思います。

私から1点、プレハブの使い心地はどうですか？見せていただいてしっかりしていると思いましたが、皆様も興味があったかと思います。

<軽井沢西部小学校長>

皆様から見ていただいて、いかがでしたか？

<細萱会長>

やはり校舎と直接つながっていないのは不便だと思ったのですが、プレハブ自体は水道もついており、室内も暖かく、隙間風が入ってくるようなものではなかったのがよかったです。

<松村委員>

本日、子どもと一緒にプレハブの掃除をさせてもらったのですが、私たちの頃のプレハブの印象とは全く異なり、風通しもよく、日当たりもよかったですし、想像していたものよりとても環境は良いなと思いました。

<細萱会長>

プレハブは4年生が利用しているということでいいですね？学年間の連携などは大丈夫ですか？

<軽井沢西部小学校長>

1つのプレハブのなかに竹組と松組が入っていますのでそちらに関しては問題ないかと思います。今年含めて3年間使用する予定となっております。

<細萱会長>

来年も4年生がプレハブを使う予定ですか？

<軽井沢西部小学校長>

はい。職員に意見等を聞いて検討させてもらった結果、4年生がいいのではないかとになりました。西側に自情障学級が2クラスある点などもふまえております。

<細萱会長>

もう一点。暖房はストーブですか？エアコンですか？教室により違ったので、なぜこんなにバラエティ豊かなのかと思ひまして。

<軽井沢西部小学校長>

エアコンの利用に関しては、子どもの数が増えており、その上コロナなど感染症予防で机の間を広くすると、ストーブの場合近くに寄りすぎてしまう子どもが出てくるのでエアコンを使用しています。また、エアコンも日常的に使用している教室には入っているのですが理科室や音楽室には設置されていないため、そういった点からもバラバラな運用になっています。

<細萱会長>

子どもたちの環境に適したように配慮されているのですね。

もう1点。この会議室にICT機器がかなりの数置いてありますが、いつ入れ替わりになりますか？

<軽井沢西部小学校長>

明日、職員への説明会がある予定です。そしてこちらのタブレットは今年中か来年の1月頭に入れ替える予定のものになります。

<軽井沢中学校長>

中学校に関しては職員分の配布は終わりました。

<軽井沢西部小学校長>

今までは小学校1年生から3年生は共有機というものを皆で使っていたのですが、次からは低学年も1人1台配布されることとなりました。

<細萱会長>

本日お集りの運営委員の皆様もなかなかそういった細かい部分まではおそらく知らなかったと思うので、教育委員会でもどのように配慮しているかなど見ていただき、ご理解いただければと思い質問させていただきました。

あと、大きなプリンターがありますが、印刷だけではなく綴じたりもできるのですか？

＜軽井沢西部小学校長＞

はい。現在も校内見ていただいた際に廊下にプリンターがあるのを見ていただいたと思うのですが、今は職員室でなければ印刷できないわけではなくタブレットからデータを飛ばして印刷ができるようになっています。そういった利便性が非常に高まっています。

＜細萱会長＞

授業でもかなりタブレットを活用している様子が見られました。おそらくただ文字を打っているだけではなく、応用しているようでした。

＜軽井沢西部小学校長＞

はい。それでも紙とペンを選ぶ子もいますし、調べ学習もタブレットではなく図書館を使う子どももいますし、本当に多様になってきていると感じています。

＜細萱会長＞

子どもたちは普通に使いこなしている感じですね。現在タブレットの持ち帰りはできるようになっていますか？

＜軽井沢西部小学校長＞

学校や学年の約束によると思います。中学校では持ち帰りを行っていますか？

＜軽井沢中学校長＞

中学校では誓約書を提出してもらったうえで持ち帰りを許可しています。今は切り替えの時期なので実施していませんが。

＜細萱会長＞

そうすると家庭学習などもタブレットを通して行いう事が出来るのですね。でも家庭にWi-Fi環境がない家もあるかと思いますがその場合どうするのですか？

＜軽井沢西部小学校長＞

その場合は4月頃に教育委員会がアンケートを取り、貸出を行っています。

＜細萱会長＞

話を聞かせてもらうとなるほどと思う部分がたくさんあります。ありがとうございました。

（１）グループ討議

＜細萱会長＞

それでは議事に移らせていただきます。

グループ討議のテーマの「軽井沢の子どもたちのいいところは何か。それを伸ばしていくために地域と協力できることは？」について話し合ってもらいます。参考に令和4年度の第2回の会議資料を机上に置かせていただきました。また、このテーマだけにとらわれず、柔軟に話し合ってください。

時間は15分を目安としておりますがこちらで様子を見ながら声をかけさせていただきます。グループごとに発表していただきます。少ない時間ですので活発な意見交換をお願いします。

（２）発表・キーワード共有

～グループごとに15分の意見交換・5分のまとめ時間～

＜細萱会長＞

どのグループも活発な意見交換ありがとうございました。短い時間だったため、まだ話し足りないところがあるかもしれませんが、グループ1より発表をお願いします。

～グループ1（発表者：軽井沢西部小学校 田野校長）～

このグループでは昨年の資料の総評の所に「地元愛。地域を知る。自分を知る。軽井沢学」というキーワードが出てきております。見せるようなボードにはなっていないですけども、去年の資料で、総評のところに書いてある地元、地域を知る軽井沢学っていう学校運営協議会で出していただいたキーワードがあります。本校では先週の金曜日に軽井沢ゼミというものを行いました。委員の栗山様にも講師をお願いし、町のお話をしていただきました。本校に勤めている職員で軽井沢出身や軽井沢に家がある者は誰もなくて、情報が何もないので教えてくださいということで、いろいろ聞かせていただきました。現在、来年に向けていろんな実施をしたいことがありまして、今3小学校の学校長いるのですけれども、本校で行った講座でアプト式の電車のお話をしていただいたのは中部小学校の先生なのですが、実は東部小学校に電車があるんです。ならば、東部小学校へ行って中部小学校の先生に話を頂き、そこに町の3つの小学校の子が行けば中学で軽井沢学をやっているのです、そこに繋がる子どもたちが育っていくんじゃないかなと思っております。軽井沢学への道のりに、小学生のうちにいろいろ触れさせたものが繋がっていくんじゃないかなっていうことをこの学校運営協議会で教えていただきました。そこで、様々な講師の方の情報をいただいたのがこのボードの付箋になります。今すぐは出てこないなって言われましたので、2月にまたこの会が開催されると思いますので、そのときにまたいろんな情報を教えていただければと思います。本校で行った軽井沢ゼミを3小学校で同日に開催すると様々な内容の講師の方の数が必要になります。今回西部小では13個の講座で行ったのですけど、それでも1講座13人ぐらいになっていますので、他学校集まるとそれぞれ10個ぐらいずつまだ必要ですので、さらに20人ほどいろんなジャンルの講師の方がいるとありがたいです。そのため講師の方の情報を今回の討議の場でいただきました。また、先程のアプト式の講座に関しては新軽井沢区長土屋崇様もそういうスキルを持っているという情報がありまして、来年ぜひよろしくお願いいたします。同じことでいつでも学校の中に来てくださいますとやっていますが、地域に出てって、子どもたちが地域の一員として何か参加する場所があればいいんじゃないかな、なんてことも思います。そういう情報が欲しいなんてことも話題にいたしました。

<細萱会長>

また2月の学校運営協議会までに考えた時に来てくれっていうことなので、宿題をいただいたような感じですけども、情報があるとありがたいですね。

～グループ2（発表者：軽井沢中部小学校 阿部校長）～

軽井沢ならではのいろいろな方が住んでいらっしゃるの、その多様性を生かす学びの場を作ったらいいかってことについて話し合いました。驚くほど人材豊富なのに学校現場とはなかなか今結びついていないという現状があります。知ってはいるんだけど個人情報のため紹介しにくいとかあるかと思います。今の子ども達は核家族化で、もう家族の中だけでの生活で完結している現状も見受けられます。また、PTA活動も縮小化しております。地区行事も減ってきており、そういう状況ですがせっかくの軽井沢に居るので、もっといろいろな人と出会ったり、地域の方々と一緒に何かをする場って作れないかなと思っております。教えるとか教えられるっていう、そういう関係性で出会うってこともあると思いますが、一緒に何かするっていうのもいいんじゃないかっていう意見もありました。構えないで一緒に何かしようという、そういう場が作れたらいいねということで、何できるかなって話していたときに、運動会を地域参加型にしたらどうかと出ておりました。運動会は一生懸命練習したものを発表する場という従来の認識があるんですけども、それだけでなく玉入れをやりたい人集まってみんなでやろうとか、もう練習云々じゃなくって、そういうことをできないかな、いい意味でちょっと昔に戻すという意見もありました。それから、学校の外に出てというお話が先ほどあったんですけど、今ある町の文化祭ですとか、いろいろなスポーツの競技会があるんですけど、そういうところに子ども達が多量に参加できるように学校で呼びかけたりとか、そこでいろいろな人と子ども達が出会うっていうのはすごく大事だと思います。軽井沢学に関わってくださった方と一緒に、また何かできる場ができたらいと思うと話をさせていただきました。

～グループ3（発表者：軽井沢東部小学校 川崎校長）～

このグループでは、自己肯定感を高めて行くためにはなど話をいたしました。どのように子どもたちの学びにとり入れているのか話を伺いました。そこでやっぱり幅広い人々と関わり合うということが大切だと話がありました。やはり子どもたちにとって大事なことだなというような話もありました。そんなところからちょっと関わり合いというような形で話を進めてきましたけれども、やはり軽井沢は子ども達から見てもすごく自然豊かで人々がたくさんいて、先ほども出ましたが本当に人材も豊富です。やはり地域の子どもたち、それからそこで触れ合うというところでそこを結びつけていくことが必要なのかなというようなことが出ました。地域の繋がり、それに

PTAの繋がり。PTAと地域というようなところをしっかりと繋がっていくことが必要なのかなんて話もありました。地域の方で行事をやりませんかと話があったときに前にはあったが最近、そういうのは子どもにとってなかなかなじみがないようなものになってしまっております。それが残念だなと感じております。やはり地域であったり、PTAであったり職員であったり子どもたちであったりそういうところのみんながやっぱ協力するってところが必要なのかなと思います。そのためにも子どもたちと地域、それからPTAと地域、学校と地域という形で連携をしていきたいという思いがあります。先ほど軽井沢学についてグループでも出てきましたが、職員も結構軽井沢町のことで知らないことがあります。学校の先生が地域の社会科見学に行きたいが、どこに行ったらいいんだろうということもあります。何とか自分でわかる範囲でやって、後々になってここに行けばよかったんだって結構あるんです。そういうところも、地域の方々と職員が協力出来ればさらに理解が深まると思います。この委員会で社会教育でコンテンツを提供してくれるよっていう方がいたりするよという情報がいただけたら、子どもたちがやっぱこういう場もすごく大事なんだと教えていけるのではないかという話をしました。子どもたちの伝える力を育てていきたいなっていうところがあります。そのために地域の方も一緒になってやっていこうというのがすごく大事ななと思いました。

～グループ4（発表者：軽井沢中学校長 山崎校長）～

軽井沢町の素直な子どもたちをどういうふうに地域と学校とで協力し伸ばしていくかっていうことなんですけれども、その前にやはり地域と学校といかに接点を持つかってことがすごく重要になってくるのではじゃないかと思います。今までの話し合いの中でも、部活動の面とか学習の面でも関係を持ってきたけれども、実際コロナが今年度5類に下がったあと学校現場はどういうふうになっているのかという話を話題として提供いたしました。今まで切れてしまっていたものをどう繋ぎ直していくかってことを、今学校としては一生懸命やっているという話をしました。例えば地域からこれができるよとか、生徒からこれがしてほしいという声が上がってきたときにどうそれを調整していくかってことが、我々学校としては非常に重要ななと思います。その中でボランティアセンターで定期的に会合を開かれていて、そこでこういう活動していると話題が上がることもあるってこと情報がありましたので、ぜひ学校としてもそういういったところから情報収集して、学校から要請するということが今後大事になって

くるかなというふうに感じました。また、地域と学校のことだけじゃなくて、やっぱり先ほど出てきました人間同士の繋がりもだんだん希薄になってきているし、子ども同士もどうなんだろうというようなことも話題になってきました。そういった人たちが集まるコミュニティのような、人が集まれる場所っていうのが、今後大事になってくるかなと思います。そうして人と人とが繋がってくることによって、やはり健やかな子どもたちが育ち、さらに良いところを伸ばしていけるんじゃないかなということでも簡単でございますが話させていただきました。

4. その他

＜細萱会長＞

次に、（3）その他について事務局よりお願いします。

＜こども教育課長補佐兼学校教育係長＞

今回は令和6年2月13日の火曜日、場所が軽井沢東部小学校で実施する予定となっております。また、5時間目を見ていただきましてその後会議というような方式をとらせていただきたいというふうに考えております。正式なものは通知文を送付させていただきますのでそちらをご確認ください。もう1点、最初にも申し上げたのですが、書いていただいたアンケート用紙を机の上に置いていただければこちらで後ほど回収させていただきますのでよろしくお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

5. 閉会

＜細萱会長＞

以上をもちまして、令和5年度第3回学校運営協議会を閉会いたします。ありがとうございました。